

平成 29 年度事業報告

(公財)ふるさと島根定住財団

I. 事業実績の総括

当財団は平成4年に、県内就職の促進、U I ターンの支援に取り組むため設立した。(平成23年4月に公益財団法人に移行)

以来、事業規模を拡大し、以下の三つの大きな柱を中心に定住を促進する事業を展開している。

- 1：若年者の県内就職の促進
- 2：県外からのU I ターンの促進
- 3：活力と魅力ある地域づくりの促進

上記の取組みは、県の基本計画である「島根総合発展計画第3次実施計画(平成28年3月策定)」及び「島根県総合雇用対策の方針(第3次)(平成28年3月策定)」の施策に位置付けられており、県の主管部局(地域振興部、環境生活部、商工労働部)と常に連携を図りながら、事業の執行にあたった。

なお、上記の実実施計画等では平成28年度～平成31年度の4年間を期間とし、以下の成果指標において平成31年度の目標値を設定している。

- ・県内高校進学予定者のうち学生登録者の割合(H31年度：100%)
- ・ジョブカフェしまねでの大学生インターンシップ実施件数(H31年度：450人)
- ・U I ターン希望者の産業体験終了後の年間定着者数(H31年度：53人以上)
- ・島根ふるさと情報登録事業の登録者数(H31年度：3,000人)
- ・U I ターン希望者の無料職業紹介による就職決定者数(H31年度：270人)※

※無料職業紹介による就職決定者数は、平成28年度に取組目標値を再設定 210人→270人

これらに向けて、目標の達成状況を意識しながら事業の実施に努めた。

以下、3つの柱の主だった事業の実績、課題等について報告する。

1. 若年者の県内就職の促進

○島根労働局の「しまね職業安定業務統計速報」によると、平成29年度平均の有効求人倍率は1.64で、平成28年度平均と比べると0.14ポイント上回った。

○島根労働局によると、平成30年3月の新規学校卒業予定者の3月末時点の就職内定率は、雇用情勢や企業の採用努力もあり、大学生(大学院含む)が、97.2%(対前年▲0.3)、高校生が99.7%(対前年▲0.2)と高い数値となった。一方、島根県の大学卒(平成26年3月卒)の3年間での離職率は、37.6%(対前年+1.7)であり、全国平均の32.2%を依然として上回っている。

(1) キャリア相談事業

○キャリア相談事業はジョブカフェの主要なサービスの一つに位置付けられる。

○個別キャリア相談数は、9つの段階に応じ就活力を向上させるプログラム「Step 9」の導入などもあり、平成28年度に比べ429人増の5,192人と過去最高を記録した。内訳としては松江センターで645人の増となる一方、浜田ランチでは平成28年度に大きく伸びた反動もあり、216人の減となった。

○県内就職の促進に向けては、大学等を通じてジョブカフェの早期利用の促進に向けた働きかけを行うとともに、学生向けのイベントの際にジョブカフェの紹介などを引き続き行った。

また、高校・大学等の要請に応じて年間78件の出張セミナーを実施した。

○松江センターにおいては、新規学卒者及び既卒者対象を対象とした小規模面接会に併せ、セミナーや相談の場を設け就職決定に一定程度貢献した。

○島根大学と県立大学松江キャンパスにおける出張相談や県立大学でのセミナー実施など、大学と連携した相談対応等にも引き続き取り組んだ。

(ジョブカフェ来所者・相談実績)

単位:人():率

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
来所者(延べ人数)	9,974	10,102	11,019	9,822	7,981	7,556	7,407	8,364	8,475
松江センター	7,405	7,128	8,222	7,572	6,821	6,175	6,159	5,765	6,273
浜田ランチ	2,569	2,974	2,797	2,250	1,160	1,381	1,248	2,599	2,202
個別キャリア相談	4,172	4,491	4,694	4,366	4,678	3,971	3,943	4,763	5,192
松江センター	2,801	2,828	2,864	2,854	4,059	3,340	3,400	3,113	3,758
浜田ランチ	1,371	1,663	1,830	1,512	619	631	543	1,650	1,434
学 生	1,979 (47.4)	2,259 (50.3)	2,452 (52.2)	2,199 (50.4)	2,384 (51.0)	1,901 (47.9)	2,235 (56.7)	3,234 (67.9)	3,515 (67.7)
既 卒	2,193 (52.6)	2,232 (49.7)	2,242 (47.8)	2,167 (49.6)	2,294 (49.0)	2,070 (52.1)	1,708 (43.3)	1,529 (32.1)	1,677 (32.3)

(2) しまね学生登録制度の登録者拡大

○平成9年度から開始したこの登録制度は、学卒者の就職支援の中でも重要な事業の一つと位置付けている。

○高校卒業時の登録に際し、高校の協力が不可欠なことから、平成23年度から現役高校教員の派遣受け入れや高校との連携強化を図るとともに、平成26年度には登録の仕組みを簡素化するなど登録者拡大に取り組んできた。

○登録者数は、平成29年度末には1万人を超え、順調に伸びている。平成31年度には、県内高校進学予定者のうち学生登録者の割合を100%とすることを目指しているが、平成29年度末の登録率は、78.3%(対前年+5.9ポイント)であり、目標達成のためには、更なる取り組みが必要である。

(しまね学生登録の登録状況)

(単位：人)

区 分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
有効登録者	3,240	3,282	3,428	4,189	4,474	5,483	6,857	8,977	10,490
新規登録者	1,286	1,441	1,758	2,535	1,839	2,962	3,356	4,370	4,020

<就活生向けの取組み>

(3) 企業ガイダンス等の効果的实施

○平成29年3月末卒業生から、面接などの選考活動の解禁日が8月から6月へと2か月前倒しとなり2年目を迎えており、就活期間の「短期化」が続いている。

○このため、平成29年度は、県外でのイベントとしては、就職フェア（合同面接会）は行わず、年度前半（4月後半から5月中旬）に単独の企業ガイダンス（合同説明会、東京、大阪、広島）に絞って実施したが、結果的には思うような学生の参加は得られなかった。

○また、平成31年3月末卒業生に向けては、就職活動開始前の1月に全学年を対象とした「とっとりしまね就活トークフェス」を開催したほか、就職活動開始時期に合わせ、3月に企業ガイダンス（合同説明会）を県内（松江、浜田）、県外（大阪、広島）で開催した。

○新卒者の県内就職を促進するためには、低学年次から県内企業について知ってもらうことが重要であり、県外学生が帰省する年末（12月28日）に、全学年の学生を対象とした「年末ジャンボしまね企業博」を引き続き開催した。

■県内企業ガイダンス

イベント名		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
松江(年末) (くにびきメッセ)	開催日	12/27(木)	12/28(土)	12/27(土) ※企業博	12/27(日) ※企業博	12/28(水) ※企業博	12/28(水) ※企業博
	参加者数	662人	700人	324人	330人	522人	414人
	参加企業	95社 7団体	102社 4団体	77社 4団体	100社 4団体	121社 6団体	134社 3団体
松江(春) (くにびきメッセ)	開催日	3/10(日)	3/1(土)	3/7(日)	3/6(日)	3/7(日)	3/3(土)
	参加者数	328人	414人	667人	619人	535人	514人
	参加企業	78社 5団体	117社 4団体	141社 3団体	203社 3団体	203社 3団体	207社 3団体
浜田(春) (いわみーる)	開催日	2/17(土)	2/23(日)				3/14(水)
	参加者数	44人	79人				41人
	参加企業	30社 5団体	43社 4団体				42社 3団体
浜田(5月) (いわみーる)	開催日				5/30(土)		5/21(日)
	参加者数				45人		68人
	参加企業				43社 3団体		62社

■県外企業ガイダンス

開催地		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度		H28年度		H29年度		
広島	開催日	1/19(土)	1/18(土)	27年度に 実施	4/18(土)	3/29(火)	←H27年 度実施	3/25(土)	/	4/22(土)	3/24(土)
	参加者数	205人	182人		135人	83人		65人	/	25人	53人
	参加企業	53社	62社		66社	68社		67社	/	30社	73社
	(うち県内)	25社	34社 (1社欠)		39社	44社		44社	/	17社	47社
大阪	開催日	12/22(土)	12/23(月)		5/17(日)	/	4/9(土)	H29年度 実施→	4/16(日)	5/14(日)	3/17(土)
	参加者数	255人	211人		190人	/	206人		143人	14人	102人
	参加企業	68社	64社		78社	/	96社		96社	28社	95社
	(うち県内)	21社	27社		33社	/	37社		37社	17社	37社
東京	開催日	1/12(土)	1/12(日)		5/23(土)	/	4/16(土)	3/11(土)	/	4/29(土)	1/13(土)
	参加者数	94人	99人		73人	/	60人	40人	/	15人	61人
	参加企業	45社	38社		48社	/	42社	49社	/	25社	30社
	(うち県内)	15社	16社 (1社欠)		24社	/	22社	25社	/	14社	15社

↑ 28.3卒 ↑ 29.3卒 ↑ 29.3卒 ↑ 30.3卒 ↑ 30.3卒 ↑ 30.3卒 ↑ 31.3卒

※H29年度の1/13(土)のガイダンスは、全学年を対象としたとっとりしまね就活トークフェスとして開催

■県内就職フェア

イベント名		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
就職フェアしまね(春期)							
松江(くにびきメッセ) 主催:定住財団	開催日	5/12(土)	5/11(土)	5/24(土)	/	6/12(日)	6/10(土)
	参加者数	330人	259人	350人	/	274人	215人
	企業数	66社	88社	121社	/	155社	123社
浜田(いわみーる) 主催:定住財団	開催日	5/19(土)	5/18(土)	5/31(土)	/	6/18(土)	/
	参加者数	43人	38人	35人	/	14人	/
	企業数	17社	26社	40社	/	44社	/
就職フェアしまね(夏期)							
松江(くにびきメッセ) 主催:定住財団	開催日	8/11(土)	8/13(火)	8/13(火)	8/12(水)	8/27(土)	8/12(土)
	参加者数	254人	221人	264人	250人	124人	170人
	企業数	64社	68社	110社	127社	119社	118社
浜田(いわみーる) 主催:浜田・江津雇推協 ※H28は財団主催、以前は共催	開催日	8/13(月)	8/11(日)	8/10(日)	8/9(日)	8/21(日)	/
	参加者数	69人	62人	35人	34人	14人	/
	企業数	31社	35社	37社	39社	29社	/
就職フェアしまね(秋期)							
松江(松江テルサ) 主催:定住財団	開催日	/	/	/	10/31(土)	10/29(土)	10/14(土)
	参加者数	/	/	/	101人	46人	53人
	企業数	/	/	/	46社	40社	50社
就職フェアしまね(冬期)							
松江(くにびきメッセ他) 主催:定住財団	開催日	/	/	/	1/29(金)	/	1/20(土)
	参加者数	/	/	/	27人	/	15人
	企業数	/	/	/	27社	/	15人
浜田(いわみーる) 主催:定住財団	開催日	/	/	/	1/24(日)	/	/
	参加者数	/	/	/	3人	/	/
	企業数	/	/	/	21社	/	/

※H29年度の1/20(土)のフェアは、H30.3卒生及び一般求職者を対象としたトリプルC企業説明会として実施

(4) 就活生と企業の交流

○学生の企業理解、県内企業や就職への理解を深めるため、学生が企業に自己PRを行う「リアルアドバンス」、企業から学生にアプローチする「企業プレゼン」、学生と企業の「アフター交流会」など、学生と企業との交流イベントを開催した。

<リアルアドバンス>

3月（学生の“自分”商談会） 学生数 29人、企業数37社
 （いわみ学生ドラフト会議） 学生数 9人、企業数16社

<企業プレゼン等>

4月（とりしま企業ガイダンス大阪） 学生数 24人、企業数20社
 5月（企業ガイダンス浜田） 学生数 52人、企業数15社
 6月（就職フェア松江会場） 学生数 28人、企業数20社
 10月（就職フェア松江会場） 学生数 42人、企業数28社
 12月（企業博） 学生数313人、企業数40社
 3月（企業ガイダンス松江会場） 学生数162人、企業数40社

<低学年次学生向けの取組み>

(5) しまね学生インターンシップ

○大学、短期大学、高等専門学校及び専修学校の卒業前年次までの学生を対象とした、県内企業での「しまね学生インターンシップ」は、学生、企業双方の関心は引き続き高い状況である。

企業からの申込件数は、312社（対前年+60社）と増加する一方、インターンシップは、1Dayや長期実践型など多様化していることから、当財団を經由しないインターンシップへの学生の参加もあり、申込学生数が、436人（対前年▲30人）となった結果、学生数、企業数いずれも減となった。

インターンシップ実績

単位：人・社

	H24年度		H25年度		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度	
	学生数	企業数	学生数	企業数	学生数	企業数	学生数	企業数	学生数	企業数	学生数	企業数
夏期	147	58	204	66	231	83	266	99	325	111	326	122
春期	26	18	31	20	115	63	159	73	128	75	110	53
計	173	76	235	86	346	146	425	172	453	186	436	175

※企業数：マッチング企業数 学生数：参加者延べ数

○インターンシップ参加学生の宿泊費等の助成は、高校生4人（対前年度▲22人）、大学生36人（対前年度比▲19人）といずれも昨年度を下回った。

(6) しまね企業交流セミナーの実施

○県内就職の魅力を伝えるため、都市圏（東京・大阪・山陽）において、低学年次の学生を対象とし、県内で活躍する企業人・社会人と学生が交流するセミナーを実施した。

東京：5回開催、参加者延べ60人
 大阪：5回開催、参加者延べ96人
 山陽：5回開催、参加者延べ59人 計215人

＜定着支援のための取組み＞

（7）若手社員交流会の実施

○若年者の職場定着を図るため、県内で就職した若者の交流の場となる若手社員交流会を開催した。

松江：企業数延べ58社、参加者数延べ 92人

石見：企業数延べ84社、参加者数延べ207人

※石見については、西部高等技術校と共催

（8）しまね大作戦会議（内定者講習会）の実施

○企業等の組織でそれぞれのポジションにある社会人（経営者、中間管理職、新入社員）及び内定者がグループワークでの対話を通じ職場での円滑なコミュニケーションの実現、組織の在り方を考える会議を松江・浜田で開催した。

企業数87社、参加者数144人（うち内定者15人）

2. 県外からのUターン者の促進

○財団は設立当初から島根県のUターン総合窓口として、県や市町村及び関係機関等と連携しながら、Uターン者の促進に積極的に取り組んできた。

○島根県発表の平成29年度のUターン者数実績は、平成28年度に比べ260人減の4,116人となった。Uターン（▲223人）、Iターン（▲30人）といずれも減少となった。

(1) 無料職業紹介事業

○Uターン者の求職登録者数及び求人数ともに増加傾向にある。とりわけ、人材獲得競争の激化や積極的な企業への「くらしまねっと」の周知もあり、企業からの求人数は大幅に伸びている。

○「くらしまねっと」の活用やきめ細かい求職登録者への対応及び企業体験支援事業等の効果もあり、マッチング件数は順調に増加しており、平成29年度の就職決定者は305人と過去最高となった。

(無料職業紹介事業の実績)

区分	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末	28年度末	29年度末
求職登録者	1,092人	1,234人	1,336人	1,613人	1,827人	1,835人	1,862人
求人数	766人	907人	1,090人	1,530人	2,021人	2,308人	3,688人
有効求人倍率	0.70倍	0.74倍	0.82倍	0.95倍	1.11倍	1.25倍	1.98倍
就職決定者	88人	117人	125人	181人	255人	262人	305人

(2) Uターンしまね産業体験事業

○平成8年度の制度創設以来、体験者の約5割が引き続き県内に定着するなど、効果の高い財団の老舗事業である。平成23年度には滞在費助成の引き上げ、平成25年度には対象産業に介護の追加、およびこれまで対象外であった実家にUターンし産業体験を行う者を助成金支給の対象とするなど、様々なニーズを取り入れながら事業を実施してきた。

○平成29年度の新規認定者数は、前年度と同数の90人となり、2年連続で90人台を維持した。

(内訳) 農業45人、畜産5人、林業8人、漁業17人、その他15人

林業、漁業は増、農業、畜産は減

○平成8年度から平成29年度までの体験者数の累計は、1,735人、うち定着者数は845人となり、前年度より75人増加した。

(産業体験事業の実績[平成29年度末])

(単位:人、%)

認定年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H8~29
認定者	60	50	35	42	55	83	60	81	83	90	90	1,839
体験終了者	60	50	35	42	55	83	60	81	82	73	3	1,735
うち定着者	26	33	17	23	37	58	36	57	70	61	2	845
定着率	43.3	66.0	48.6	54.8	67.3	69.9	60.0	70.4	84.3	83.6	(66.7)	48.7

(3) しまね暮らしお試し体験施設事業

○「まずは地方の市街地で生活してみたい」というニーズに応えるため、財団で県内市街地の空き家を借り上げ、移住生活体験施設として、県外在住の移住希望者に短期間の貸し出しを実施した。

□松江市北堀、松江市寺町、出雲市今市、出雲市平田、大田市大田、益田市中島、雲南市木次の7件整備

□利用状況：40組74人（前年度：58組131人）

※北堀：5組8人、寺町：9組11人、今市：7組15人、平田4組5人
大田：6組18人、益田：4組9人、雲南：6組9人

□定住決定者：15組25人（前年度：15組30人）

※定住先：松江5件、安来1件、出雲2件、江津1件、大田2件、雲南3件、
吉賀1件

(4) Uターン人材確保就業支援事業（社会人インターンシップ）

○Uターンを検討している即戦力（IT技術者、建設・土木技術者、福祉介護技術者等）となる方に対し、就業体験経費の助成を実施した。

助成金決定者11人（IT：2人、福祉：9人）全員が就職決定済み

(5) Uターンに関する情報発信

○定住関連情報や生活情報、Uターン者の声、Uターン支援情報などを総合的に提供するUターン総合サイト「くらしまねっと」（平成22年8月開設、平成27年3月にリニューアル）により情報発信を積極的に行った。

○東京、大阪、広島で開催した「しまねUターンUターンフェア」では、3会場全てにおいて全市町村が参加となったのをはじめ、企業ブースの大阪会場への設置や、東京でのJR山手線等での交通広告、子育て世代をターゲットとした子育て世代専門誌への広告掲載など広報を強化したことなどにより、来場者数が過去最高の1,658人（前年度比+60人）となった。

○Uターンフェアの前後に小規模な相談会を開催するほか、島根に関心がある方が気軽に参加できる夜の交流会を開催するなど、ターゲットに応じた参加しやすい機会を設け、Uターンフェアや求職登録への誘導等を図った。

(6) Uターン者のフォローアップ

○島根にUターンした方々の交流の場として県内2か所で「定住塾」を開催し、仕事や生活面での悩みなどをサポートするとともに、ネットワークづくりを図った。

西部	吉賀町	参加者数21人
隠岐	海士町	参加者数38人

3. 活力と魅力ある地域づくりの推進

○若者の県内就職や県外からのUターンを促進するためにも、活力と魅力ある地域づくりの推進が不可欠であることから、課題解決や地域活性化に向けた団体自らが実施する継続的な活動を支援するため、助成事業を軸に地域づくり団体や実践者、NPO法人等を対象にした研修、専門相談、情報発信などを実施した。

○県内地域づくり団体の活動事例紹介や事業成果等の情報発信を強化するため、地域活動応援サイト「フレフレしまね」を新たに構築した。

(1) 地域づくり人材育成支援事業

○地域づくりを始めるために必要なノウハウの習得、担い手の促進を図るための連続講座や実践のために必要な企画力、マネジメント力等の習得のための連続講座などを実施し、地域での取り組みを促すことに努めた。

セミナー名	形式等	実績
地域づくりセミナー 「成果の導き出し方ワークショップ」	出雲市、大田市、江津市で開催 実施した事業成果の可視化に関するセミナーを実施	81人
「伝えるコツ」セミナー	松江市、浜田市で開催 活動や事業に関する情報発信をするための基礎的な講座を実施	54人

○また、地域づくり活動を行っている団体や今後組織化をしようとする方々が一堂に会し、相互の連携を模索するためのきっかけづくり及び他団体から学ぶことによる自分磨きを目的とした3回目となる「地域づくりオールスター祭」を開催した。

木田暮らしの学校（浜田市旭町） 参加者195人

(2) 地域づくり活動助成事業（地域づくり応援助成金）

○課題解決や地域活性化に向け団体自らが実施する継続的な活動を支援するため、団体の立ち上がり期及び新規の活動（立ち上げ支援）や新たな事業展開を図る活動（事業化支援）に対する助成を実施した。

（助成の実績）

区分	申請件数	採択件数	助成額
立ち上げ支援	22件	19件	8,142千円
事業化支援	10件	6件	11,720千円
公益重視型	6件	5件	9,720千円
経済振興型	4件	1件	2,000千円
計	32件	25件	19,862千円

(3) 地域づくり情熱人支援事業

○新たなコミュニティービジネスや継続的な地域づくり事業等の創出を目的として、県内外から外部人材（情熱人）を確保して事業に取り組む場合に体験費用を助成した。

申請11件 ⇒ 採択8件

情熱人 男性5人（20代2人、30代2人、40代1人）

女性3人（20代1人、30代2人）

(4) 社会貢献活動促進事業

○平成30年3月末現在のNPOの法人数は、近年認証数が頭打ちとなる中で、平成29年度の設立数は5法人、所管庁の変更による1法人の6法人の増となる一方、6法人が解散した結果、282法人となった。

○NPO 入門講座や NPO 法人として必要な事務手続きについて学ぶ「事務局セミナー」等の実務者研修や事務力検定に加え、法人の透明性の確保や業務遂行能力の向上を図るための「ガバナンスセミナー」を実施した。

(主なセミナー)

項目	形式等	実績
NPO 入門講座	松江市・江津市で開催	36人
NPO 法人 事務局セミナー	連続講座（法務・労務・会計・決算） 松江市・浜田市で開催	129人
事務力検定	松江市・浜田市で開催	16人
NPOガバナンスセミナー	NPO 法人の理事を対象として実施 松江市で開催 併せてセミナー参加団体を対象に組織改善のためのアドバイザー派遣を実施	28人

○平成21年4月から、県内のボランティア活動等について、広く情報を発信する県民活動応援サイト「島根いきいき広場」を運営し、NPO 活動やボランティアに関する情報発信のサポートを行っている。

○平成29年度の新規事業である「中山間地域・離島におけるNPO創出のための伴走支援事業」として、隠岐の島町、美郷町、津和野町の3か所で「みらいの学校」を開校し、参加者が実現したい地域の姿や問題意識を明確にするとともに、実現に向けてのプランを発表した。

(参加者数：隠岐の島町14人、美郷町19人、津和野町18人)

(5) しまね田舎ツーリズムの推進

○田舎ツーリズムは県の事業として平成 17 年度からスタートし、財団は実践者の掘り起こしやネットワークづくり、具体的なアドバイスなど実践の場での支援を実施してきた。

○実践者等のさらなるスキルアップ等を目指し、県内研修会や特別研修会を開催したほか、県内外に普及 PR するため県外研修会や県民フォーラムを「ひきみ田舎体験推進協議会 10 周年記念」と併せて開催した。

○市町村の推進力強化のためのセミナー（大田市）の開催や田舎ツーリズムプログラム開発として、浜田市（武庫川女子大学）、江津市（琉球大学）、匹見町・奥出雲町（デュッセルドルフ大学）のエリアで、プログラム造成のワークショップを経てモニターツアーの受入れを行った。

○また、財団独自事業として、民泊施設に対する自動火災報知設備の設置経費の一部助成も行った。

(しまね田舎ツーリズム参加団体等)

(単位：団体・戸)

区 分	22 年 度末	23 年 度末	24 年 度末	25 年 度末	26 年 度末	27 年 度末	28 年 度末	29 年 度末
実践者ネットワーク 参加団体数	143	160	168	201	228	250	264	275
民泊受入 農林漁家等	211	224	236	265	281	242	247	247

(6) 「農業・農村はカッコいい！」和歌募集事業

○全国各地から農業山村等に暮らし、四季の移ろいや農作業等から感じる思い、自然と共生するライフスタイルなどを詠んだ和歌及びライフスタイルをアピールする文を6月15日から9月20日まで3か月にわたり募集し、事前審査(2回)及び最終審査会(12月3日)を経て最優秀賞等を決定した。

応募件数：137人、224首

<第3回最優秀賞>

「玉の汗 ぐいっと雑草引っこ抜く それがどうした また芽吹いてる」

(岐阜県揖斐川町 牧村 幸さん)

(7) ルネッサンス青年団事業

○若者による地域活性化に向けた各種地域活動を強化し、かつての青年団活動のように職場を超えた交流の場、出会いの場を設ける活動の経費の一部を助成。中山間地域での若者同士の交流や移住者と地元住民との交流などにつながった。

助成件数：13件 参加人数：473人(助成対象人数：416人)

事業報告の附属明細書

本書の他に、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。